

報道関係者各位

2014年3月吉日

株式会社 Aカードホテルシステム

◆現金還元率 国内 No.1 ポイントカード「Aカード」◆

「Aカード」会員 1,568 人に聞く！

『ビジネスマンのホテル利用実態』結果発表

全国で独立系ホテルのキャッシュバックポイントカード運営を手掛ける、株式会社 Aカードホテルシステム(本社：東京都千代田区、代表取締役：田中章生)は、同社が運営する「Aカード」(<http://www.acard.jp/>)加盟ホテルの会員に対し、インターネットアンケートを実施。「ビジネスマンのホテル利用実態に関するアンケート」と題して、2014年1月8日(水)～13日(月)の6日間に、調査を実施いたしました。

(対象：30代～50代のビジネスマンを中心とした「Aカード」ユーザー、1,568人)

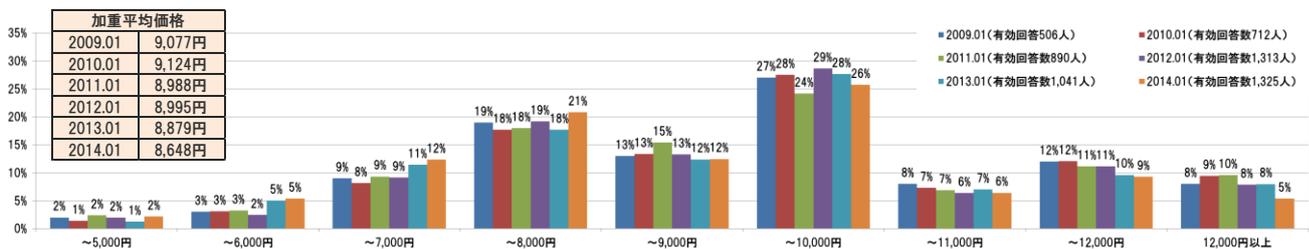


Aカードとは・・・ビジネスホテルを中心としたポイントカード、ポイント還元が現金で行われるなど、画期的なポイントシステムが注目されているサービスです。加盟ホテル・レストランも450店舗を突破し、加入者数は46万人を超えました。主な利用者は30代～50代のビジネスパーソンで、特に出張の多いビジネスマンを中心に人気を集めております。

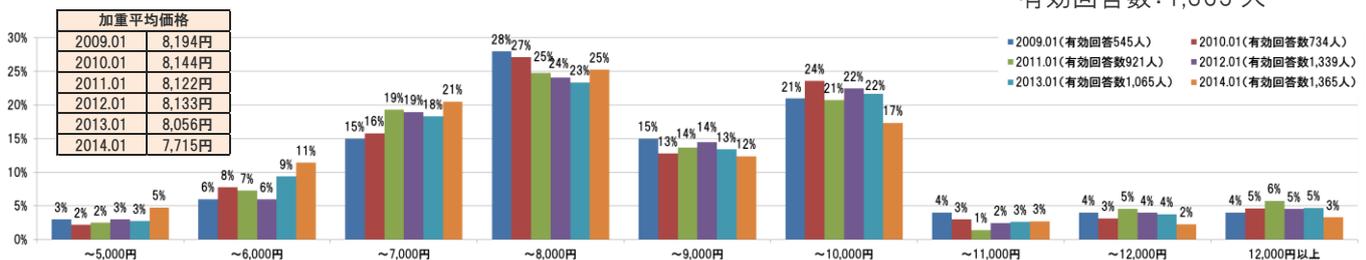
＜出張規定の宿泊時上限平均、東京・大阪の都市部では8,648円に＞

アンケート結果で、まず注目すべき点として挙げられる項目は【出張規定での宿泊費の上限】についてです。こちら、都市部(東京・大阪)での平均は、8,648円となっております。また、都市部以外のホテルで上記条件にて平均すると、こちらは7,715円となっており、東京・大阪のホテル、東京・大阪を除いたホテル、いずれも昨年と比較すると僅かに減少傾向にあります。

【宿泊規定額】東京・大阪



【宿泊規定額】東京・大阪のホテルを除く



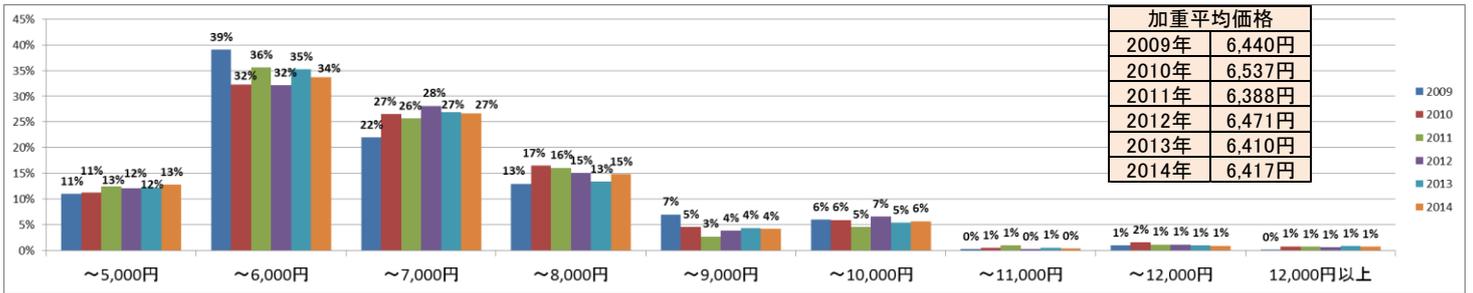
＜この件に関するお問い合わせ先＞ 株式会社Aカードホテルシステム 担当/内藤・中村

nakamura@acard.co.jp TEL. 03-5755-5531

※また、【実際に利用している宿泊費についての利用金額】を質問したところ、平均が6,417円となり、勤め先の出張規定と、実際の利用金額には、1,400円～2,300円の開きがあることが判りました。

【出張の際、実際利用しているホテルの宿泊費】

有効回答数：1,367人

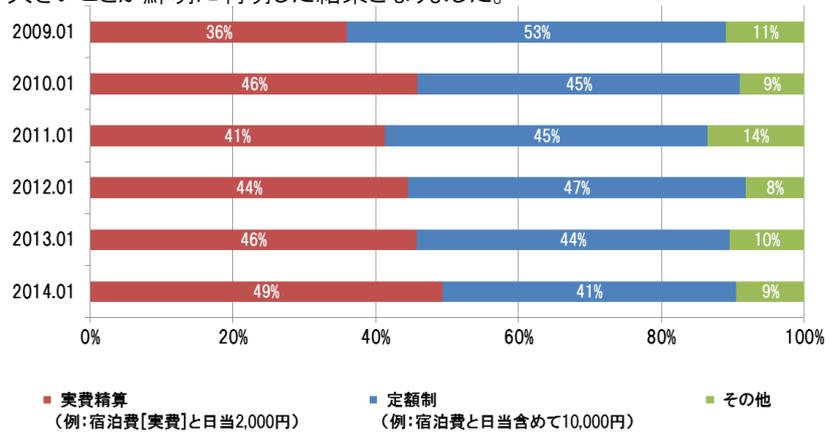


＜実費精算と定額制の比率＞～実費精算の出張ビジネスマンが約5割存在、価格よりもサービスを重視する傾向も～

次に注目すべき点として、【実費精算】について、前回2013年の調査の46%から、今回49%に上昇したことが判明しました。2009年以降、6年間の継続した調査により【実費精算】の比率が、年々高まっている傾向にあり、かつ【定額制】の比率より、【実費精算】の比率が大きいことが鮮明に判明した結果となりました。

(有効回答 1,380人)

出張の際の宿泊規定
実費精算が49%の割合
定額制が41%の割合

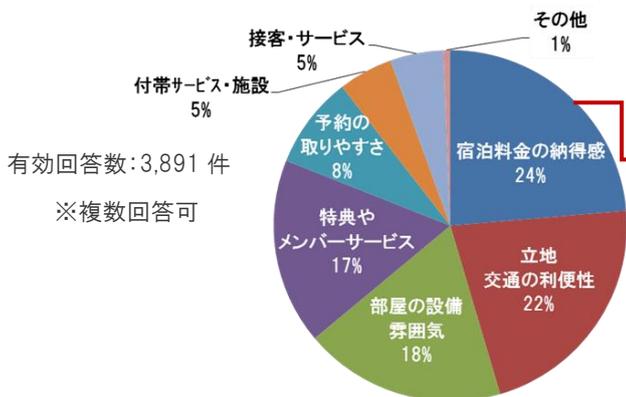


※なお、実費精算と定額制の宿泊利用料金平均を比較したところ、実費精算の方が、定額制(5,987円)より720円高い、6,707円となっています。

＜リピーターになる要因第1位は、「宿泊料金の納得感」＞

また、【同じホテルを利用したいと思う理由】をお聞きしたところ、「宿泊料金の納得感」が1位(24%)となっております。ちなみに「宿泊料金を抑えて食事代・お土産代に充てたい」が51%を占める一方で、「高くても良い部屋に泊まりたい」(21%)「出張規定の範囲内で、なるべく高い部屋に泊まってポイントを貯めたい」(18%)と答える方も合計で4割程おり、必ずしも安価な宿泊サービスを求められていない方々もいらっしゃる事が伺えます。

【同じホテルを利用(リピート)したいと思う理由】



【内訳】有効回答：1,374人

- 1位 宿泊料金を抑えて、なるべく食事代・お土産代に充てたい……………51%
- 2位 高くても良い部屋に泊まりたい……………21%
- 3位 出張規定の範囲内であれば、なるべく高い部屋に泊まってポイントを貯めたい……………18%

安価な宿泊サービスを求めない方々も4割に達します。

<顧客が望むハード・ソフト面でのリクエスト>

最後に、ビジネスマンが宿泊施設に望むハード・ソフト面へのリクエストをお聞きしたところ、ハード面、ソフト面それぞれが全体の5割と、拮抗した割合となりました。

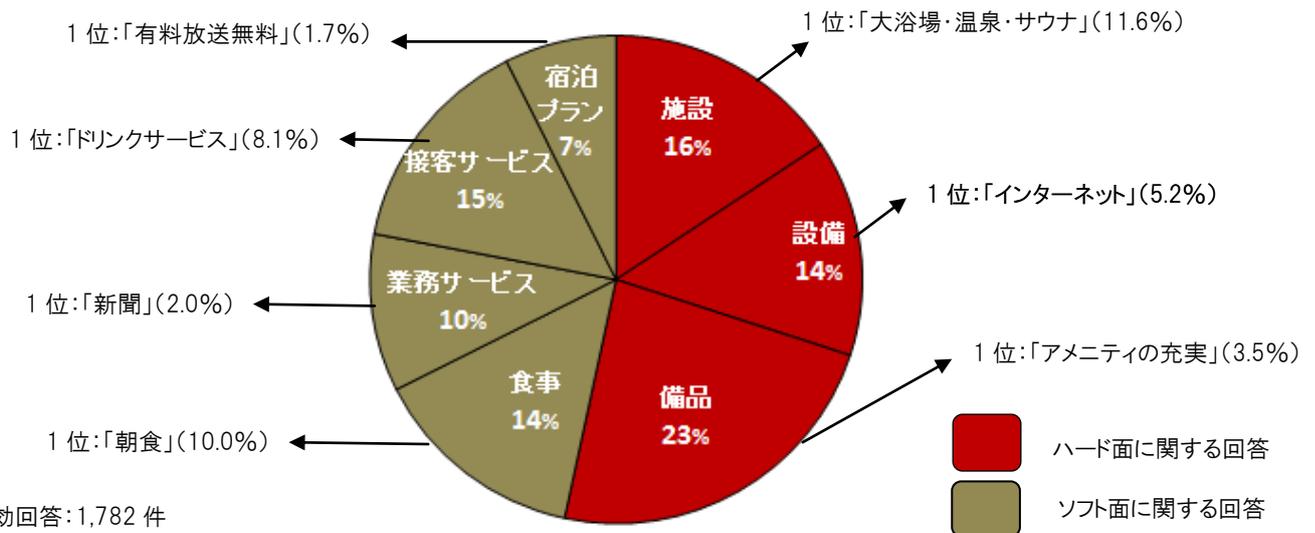
また、ハード面では

- 「施設」では、「大浴場・温泉・サウナ」(11.6%)
- 「設備」では、「インターネット環境(無線)」(5.2%)
- 「備品」では、「アメニティの充実」(3.5%)が、それぞれの項目で1位に挙がっております。

また、ソフト面では

- 「食事」では、「朝食」(10.0%)
- 「業務サービス」では、「新聞」(2.0%)
- 「接客サービス」では、「ドリンクサービス」(8.1%)
- 「宿泊プラン」では、「有料放送無料」(1.7%)が、それぞれ1位になっています。

【顧客が望むハード・ソフト面のリクエスト】



上記の事より、ビジネスマンが出張先宿泊施設に求めていることが判ると同時に、ホテル運営側がビジネスマンに向けて注力すべきサービスがどのようなものなのかが伺えます。全体でソフト面でのリクエストが約5割あることから、必ずしもコストを大きくかけなくても、ソフト面への注力でニーズを満たす対応が可能なのではないでしょうか。

【アンケート調査概要】

- 調査機関: 株式会社Aカードホテルシステム
- 実施期間: 2014年1月8日(水)~13日(月)
- 調査方法: Aカード会員へのインターネットアンケート
- 有効回答数: 1,568人(Aカード全会員の約0.3%)
- 職業: 会社員(77%) 自営業(9%) 公務員(5%) 主婦(2%) その他(8%)
- 性別割合: 男性:93% 女性7%
- 年齢(30代から50代の割合): 83%
- 年間平均出張日数: 38日(有効回答:1,353人)

<株式会社 Aカードホテルシステム>

独立系ホテル・旅館のキャッシュバックポイントカード「Aカード」の運営及び「Aカード」加盟店の獲得、加盟店へのサポートのほか、Aカード会員へのフォロー、及び加入促進等を行っております。